

第 16 回 運営推進会議 報告書

日 時:令和 6 年 9 月 11 日 11:30~12:30

場 所:介護予防センター 早稲田イーライフ出雲

出席者:出雲市役所 高齢者福祉課 1 名

大津コミュニティーセンター 1 名

大津地区 民生委員 1 名

利用者様 ご家族様 2 名

早稲田イーライフ出雲 職員 1 名

- 議 題:
- 1 事業所概要説明、方針
 - 2 利用状況
 - 3 活動内容
 - 4 感染症対策について
 - 5 災害時の対応について
 - 6 ヒヤリハット・事故について
 - 7 ご意見・ご感想

1、事業所概要説明、方針

- ・半日型で各定員 10 名のデイサービスです。
- ・午前…要支援コース。午後…要支援、要介護コースです。
- ・運動に対し、主体的、自立的な運動習慣を身につけていただくことを目指しております。
- ・マシンを利用した筋力トレーニングとレッドコードを使用したストレッチを組み合わせた運動プログラムを中心に、準備運動、椅子で座ってできる下肢筋力運動、イーライフボールを使用して体の凝りをほぐすなど多様なプログラムを実施しております。
- ・3 ヶ月ごとにアユミアイという器具を用いて身体機能測定を行っております。腰に測定器を付けたベルトを装着し、一定距離を歩行することで歩行のリズム、推進力、バランスが測定できるものです。利用者様ごとに測定結果をプリントアウトしお渡ししています。過去 3 回分の記録も載りますのでご自分の結果の推移を確認することができます。同時に身長、体重、握力測定も行っております。
- ・3 か月ごとに早稲田イーライフ本部より季刊誌「ウェリスト」と血圧や身体の状態を記録するイーロコモ手帳が発刊され皆様にお渡ししております。イーロコモ手帳は利用日に持ってきていただき、イーライフで測定した血圧、脈拍、体温を記入させていただいております。

2、現在の利用状況（2024 年 9 月 6 日現在）

・利用者数 71 名

	事業対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	計
男性	5	3	8	7	1	24
女性	9	18	11	7	2	47
計	14	21	19	14	3	71

・年代別利用者数

	～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳～
男性	1	1	5	10	5	2
女性	0	2	6	10	19	10

3、活動内容の報告

職員研修

- ・月ごとにテーマを決めて行っております。

4 月「法令順守」

5 月「介護予防及び要介護度進行予防研修」

6 月「災害について」

7 月「感染予防対策と発生時対応について」

8 月「身体拘束の排除のための取り組みに関する研修」

9 月「事故発生又は再発防止に関する研修」

※今年度、来年度は天津地区が出雲市同和教育研究指定事業となっており、当事業所でも人権・同和教育の為に、出雲市人権同和政策課の方を講師にお招きし、研修を開催する予定です。また、高齢者虐待防止委員会を開催し、施設の虐待防止に関する研修も行っております。

地域との活動

- ・毎年 2 回天津地区のクリーン活動に職員が参加しております。

- ・令和 6 年 8 月 31 日同法人のホーム・スイートホームきらり夏祭りが開催されました。当日は湖陵のどんとこい祭り、花火大会も予定されていましたが台風接近のため湖陵のどんとこい祭りは中止となりました。施設の夏祭りは通常通り開催し、イーライフ出雲の職員もゲームコーナーを出店し、施設入居者様、ご家族様、イーライフきらりご利用者様と交流をさせていただきました。イーライフ出雲の利用者様も数名参加予定にしておりましたが、花火大会中が中止となったため参加をやめられました。

利用者様のレクリエーションについて

- ・令和 6 年 4 月斐川方面へ桜見学や菜の花見学へ行きました。
- ・令和 6 年 4 月出雲市総合体育館駐車場へ行き、外から新体育館を見学しました。
- ・令和 6 年 6 月浜游自然館へ菖蒲の花の見学へ行きました。イーライフきりりからも見学に来ておられ、利用者様同士の交流を短時間でしたが行っていたことができました。

4、感染症対策について

- ・高齢者施設となりますので感染症拡大防止の為、利用中はマスクを着用していただいております。体調によりマスクの継続着用が困難な方に対してはマスクを少しずらして着用するなど個別に対応しております。
- ・施設におきましては引き続き基本的な感染症対策を心がけております。
- ・令和 6 年 7 月から 8 月は新型コロナウイルス感染症罹患者が職員、利用者様で数名発生しました。いずれも施設内で感染拡大はしておりません。

5、災害時の対応について

○避難訓練について

- ・令和 6 年 6 月に火災避難訓練を実施しました。当日利用の方全員に参加していただき、火災が発生した際に避難経路を通して屋外へ避難していただく訓練を行いました。
- ・火災の実感がなかったとの声がありましたので次回は火災がわかるような看板を設置し、目で見ても火災と分かるようにしようと思います。
- ・普段はお一人で歩ける利用者様も有事の際、職員が手を引いて歩くことにより安心安全に避難することができたとの感想をいただきました。今後の訓練でもこの教訓を生かしたと思います。
- ・令和 6 年 7 月に洪水避難訓練を行いました。7 月 9 日の大雨による道路の冠水を受け、イーライフから利用者様宅への送迎ルートで冠水のあった場所をハザードマップに記載しました。これは以前から行っており、職員が情報共有することにより危険な個所を避けての安全な送迎ができるよう毎年訓練をしています。
- ・令和 6 年 7 月に BCP 訓練を行いました。
BCP とは介護施設、事業所における業務継続化計画のことです。感染症や自然災害が発生しても利用者様が必要な介護サービスの提供を継続できる体制の構築が主な目的です。今回は営業時間中に震度 7 の地震が起こりその後の動きについて作成した計画をもとに訓練を行いました。併せて災害時必要物品の確認等を行いました。

○気象、災害について

- ・令和 6 年 7 月 9 日午後、営業中に継続的な大雨が発生。事業所南側の道路の冠水を確認。その後も継続的な大雨の予報となっていたため安全な送迎を優先するために営業時間の短縮を行い、雨の止み間を見計らって送迎を開始しました。途中通行止めの箇所もあり迂回をしなければならない道路もありましたが、皆様をご自宅まで送らせていただきました。

6 ヒヤリハット・事故について

・ヒヤリハット・事故件数 6 件

内容…ガラス戸が分からず額をぶつけられる。

ガラス戸を開けようとし、に手の甲が挟まる。

職員がシルバーカーをきちんと開いておらず、フックがかからない状態となる。

方向転換後、歩行開始時の転倒。

お茶のお替わりを入れようとしたところ、利用者様の手が湯呑にありお茶が少し手にかかった。

名札立てに使用しているコルクを食べ物だと思い口に入れられる。

7 ご意見・ご感想

・避難訓練を実施しておられますが、参加される方は毎回同じ利用者様ですか？

→毎回実施する利用日を変えて皆さんが訓練に参加していただけるようにしています。

・同じ人が何回もやって訓練に慣れることも大事ですね。

・火災の実感がなかったとの事ですがどのような状況だったのでしょうか？

→今回の出火場所が施設奥の部屋からの出火を想定した訓練でした。

利用者様からはどこで火災が起こっているのか目で見えず実感がわかなかったそうです。

それを踏まえて今後は、火災が目で見分けるような看板を設置するなど、ここの場所からの火災の時はこちらから避難するという訓練につなげていただきたいと思います。

・火災報知器は設置してありますか？

→火災報知機はありませんが、セコムの特感知器があり、熱を感知するとセコムから連絡がくるようになっています。

・AED が設置してありますが、訓練はしておられますか？

→AED 訓練は実施しておりません。ある程度人数がまとまれば消防署の方の訓練を受けることができるそうです。

AED を開けると音声で指示が流れるのでその通りにやればいいのですがいざという時に冷静に対応ができるように、皆さんでご覧になられるのもいいかもしれませんね。利用者様も一緒にやってみられるといいかもしれませんね。

・ヒヤリハット・事故件数が令和 6 年 3 月～9 月で 6 件とありますが、対応や対策はどのようにしておられますか？

→対応職員が報告書を書き、終礼時にそれについて今後の対応について話し合います。

・7 月の大雨の時は送迎が大変でしたね。

→今回の大雨はイーライフ南側の合同庁舎前までの道路が冠水し、U ターンをする車もあったほどです。毎回大雨の時はいつ送迎をすればよいのか判断に迷います。最近は天気予報も詳しく分かるようになり予測もつきやすくなりました。同居家族様がおられるところは連絡を取り、安全を確認してから送迎を行います。一人暮らしの方もたくさんおられます。大丈夫かなと不安に思うこともあります。

次回開催…令和 7 年 3 月予定です。